

長野市庁内報（職員研修羅針盤）から



文部科学大臣賞受賞！！

努力が結実！

去る令和元年5月22日(水)、文部科学省講堂において実施された「第70回文部科学省認定社会通信教育修了者表彰式」において、企画課(長野広域連合派遣)課長補佐の菊池康弘さんが、文部科学大臣賞を受賞されました。

菊池さんは、昨年度、長野市自己啓発講座助成要綱に基づいて「簿記3級コース」の通信教育講座を受講、優秀な成績で修了され、11月の簿記3級試験、翌2月の簿記2級試験に見事合格されました。



表彰状を手にする、菊池 康弘 さん
(企画課(長野広域連合派遣)課長補佐)

この度は、文部科学大臣表彰という栄誉を賜り、大変光栄に存じます。私がこれまで仕事をしてきた中で、簿記に対して抱いていたイメージは、少し前までは「公営企業会計などに携わる一部の担当者が必要な知識」というものでしたが、近年は公の施設の指定管理者制度導入に伴い、管理事業者から提出された財務諸表評価したり、あるいは複式簿記の新公会計制度が導入されるなど、知識習得の必要性が高まっていると感じておりました。ただし、私自身は学生時代を含め会計系科目を学ぶ機会がこれまでありませんでしたので、どのようにして学習に手をつけようか思案していたところ、ちょうど職場から本講座受講の斡旋があり、申し込むことを決心しました。

申し込み後は、5月下旬に教材が届き、受講期間が4か月でしたので、11月の検定試験に合格することを目標としました。具体的な勉強方法としては、平日は、毎日の通勤電車内で講座のテキストを読むことを日課とし、週末には、読んだテキストに対応する単元の問題を解いて、知識の定着を図りました。学習内容には、これまで経験してきた実務に類似する事項も少なからずあり、初学者でもスムーズに理解することができました。また、節目には添削問題を提出する必要がありましたので、課題提出を目標にしながら学習するうちに、ほぼ当初の予定通りカリキュラムを終えることができました。そして講座修了の際は、過去5回分の本試験の過去問を送付してもらい、本番前に一通り解きながら、間違えた箇所の解説を確認したり、時間配分を練習するなど、十分に準備することができ、平成30年11月の3級試験に無事合格することができました。

さらに、もっと深く学びたいとの気持ちが芽生え、講座終了後も勉強を続けたところ、平成31年2月の2級試験にも何とか合格することができました。この回の試験は合格率12.7%という難関でしたが、第1問の仕分の問題で満点を取れたことが合格につながりました。このことは、3級講座でじっくり基礎力を養成できたおかげです。

今後も本講座で習得した知識や視点を磨きながら、仕事に活かしていけるよう精進して参りたいと思います。



※一般財団法人 日本通信教育学園 機関誌「NTK ニュース(令和元年8月1日発行号)」より